

～2025年のグランドデザインを考える・地域包括ケアと小規模多機能の展望～

小規模多機能型居宅介護が地域密着型サービスとして位置づいて丸14年が経過し、介護給付費等実態統計月報／令和元年11月現在では、全国で5,461か所の事業所が稼働し、制度創設後初めて利用者が10万人を超えた(10.05万人)。

平成30年度にまとめられた地域包括ケア研究会の報告書でも「利用者が元気だったころの近所との付き合いや生活リズム、あるいは居住空間も含め、利用者はありのままの情報を、いわば『地域や在宅から引き連れてサービス事業所にやってくる』と表現してもよい。つまり小規模多機能型居宅介護は、地域との継続性を保ちやすい特徴があるといえるだろう」と指摘している。

このたびの事業では、包括報酬型サービスである小規模多機能型居宅介護が、包括報酬であるがゆえの特徴や強みを明らかにするとともに、コロナ禍における小規模多機能型居宅介護の優位性など、団塊の世代が後期高齢期を迎える2025年のグランドデザインを描くための小規模多機能型居宅介護のあり方について、令和3年度の介護報酬改定も交えながら報告します。

◆期 日 2021年3月9日(火) 13:20～17:00 まで

◆会 場 オンライン開催 (Zoom 使用)

◆内 容 (13時15分：開場) (すべて敬称略)

13:20 開 会

挨拶：全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 理事長 宮島 渡

13:30～14:00 全国実態調査「小規模多機能型居宅介護の動向」

全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 主任研究員 後藤 裕基

14:05～14:35 令和3年度介護報酬改定の経緯

「包括報酬型サービスの小規模多機能として、何を提案し、どうなったか」

全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 理事長 宮島 渡

14:45～17:00 パネルディスカッション

「2025年のグランドデザインを考える・地域包括ケアと小規模多機能(仮題)」

上智大学総合人間科学部 教授 香取 照幸

慶応義塾大学大学院 教授 堀田 聡子

小規模多機能型居宅介護における生活全体を支える包括報酬型
在宅サービスのあり方に関する調査研究委員会 委員長 山田 尋志

(社会福祉法人リガーレ暮らしの架け橋(京都市) 理事長)

全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 理事長 宮島 渡

17:00 閉 会

◆参加費 無料

◆申込方法及び注意事項(申込〆切：3月1日(月)まで(1事業所1名まで、先着順))

①参加希望の方は下記に必要な事項を記入のうえ、e-mailにてお申し込みください(定員：90人)。

申し込みの際はメールタイトルを「R02 報告会／参加希望」と明記し、メール本文に参加者名、事業所名、都道府県、メールアドレスを明記の上、下記アドレスまでお申込みください。

折り返し、参加の可否をご連絡いたします。

②参加いただく場合はZoom視聴できるように、ご自身でアプリのダウンロード等、準備願います。

③当日資料及び参加用URLについては前日夕方までにお送りします。

④配信するZoom内容は、録画禁止とさせていただきます。

◆主催・申込先 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 <http://www.shoukibo.net/>

〒105-0013 東京都港区浜松町1-19-9 井口ビル3階 TEL03-6430-7916 FAX03-6430-7918

【申込先】E-mail info@shoukibo.net